

文部科学省認定社会通信教育

実用英語講座 3級クラス

Practical English Course
Grade 3

BOOK 1

1EHM0-01

はじめに

文部科学省認定社会通信教育『実用英語講座』3級クラスの「学びの世界へ」ようこそ！

英語を学ぶことには大きな期待感がある一方で、誰しも抵抗感があったり、時に高いハードルを感じたりすることがありますね。英語を身につけるのには、そのような山あり谷ありの「学びの道」を継続して進んでいく「地道な努力」以外に成功の手段はありません。あっと驚くような「奥の手」がどこかに潜んでいるということはないものです。英語の学びへの「向き不向き」を悩んだり、これまでの学びの「成否」を振り返ったりするよりも、これからの「地道な努力」の継続が、英語を身につける大きな要因になるものです。

今、このテキストの1ページを開いた皆さんは、既に、英語を通して世界とつながる最初の扉を開いたも同然。この先、長い道のりですが、道中気長に楽しく学び続けていきましょう！

英語の学びをアシストする講座の構成

「英語が身につけている」状態とは、英語の「音声」「表現」「意味」が、皆さんの頭の中に取り込まれ、いつでも使えるようにスタンバイできている状態であると言えるでしょう。そんな状態が作れるようにお手伝いするのが、本講座の役割です。

子どもたちが言葉を身につける過程を考えると、自分自身のことについて「より身近な話題」から「他人との関わり」さらには「自らを取り巻く社会生活」へと言葉の習得が広がっていくことがわかります。この講座は、それと同様な学びのプロセスを提供できるように構成されています。まずは、自分自身のことについて「聞くこと」からスタートし、さらにさまざまな場面での「他人との関わり」、さらには、「読むこと」を通して、より一般的な「社会生活における話題」へと進んでいきます。各 WEEK の最終日には、実際の生活で起こりうる場面「Real Life」で言葉を運用することを到達目標としています。

本講座を活用して、実際に英語を何度も耳にし、さまざまな表現に触れることによって、英語を身につけていきましょう！

岐阜大学 教育学部 英語教育講座 教授
異 徹
静岡大学 大学教育センター 非常勤講師
田中裕実
(監修・執筆)

WEEK 1

Target of WEEK 1

今週は「興味・関心」や「好き・嫌い」に関する表現やその理由の述べ方を学びます。

WEEK 1の学習項目

- ・ 音楽に関する話題を聞き取ったり、自分の好みを話したりする
(DAY 1, DAY 2)
- ・ 「好き・嫌い」の理由を読んだり、自分の好みについて短い文を書いたりする
(DAY 3, DAY 4)
- ・ お知らせを聞く、掲示を読む
(DAY 5)

WEEK 1 DAY 1



What's the date today? It's _____, _____ .
(曜日) (月) (日)

⇒ DAY 1 の日本語訳、解答例、解説などは [解答・解説](#) p.2 ~ 3

Warm Up

CD1-02

- CD から流れる英語の質問に対し、あなた自身のことを答えましょう。
最も当てはまる答えの□に✓をつけましょう。

- Q1** 1 Yes, I do. I love listening to music.
 2 A little. I sometimes listen to music.
 3 Not really. I don't like listening to music very much.
 4 No, I don't. I rarely listen to music.
- Q2** 1 I like classical music.
 2 I like pop music.
 3 I like all kinds of music.
 4 I'm afraid but I don't like music.
- Q3** 1 Every day.
 2 Sometimes.
 3 Not so often.
 4 I'm afraid but I don't listen to music.
- Q4** 1 Yes, I do. I'm a good player.
 2 Yes, but a little.
 3 I used to, but I don't play them/it anymore.
 4 No, I don't. I'm not good at playing musical instruments.

▶ Hints

- Q1-3** Not really. 「それほどでもない」
Q1-4 rarely 「めったに～ない」
Q2-4, 3-4 I'm afraid but ~. 「残念ですが～」
Q3-3 Not so often. 「それほど頻繁ではない」
Q4-3 used to ~ 「以前はよく～した」
Q4-4 musical instrument 「楽器」

[参考](#) 質問の英文は [解答・解説](#) p.2



まず、答えの選択肢を読んで、質問内容を推察しましょう。事前情報が全くない状態よりも、聞き取りやすくなりますよ。

Step 1 イラストをヒントにメモを取りながら今週の会話を聞きましょう。

男性と女性の会話です。



 (日本語でも構いません)

●会話の内容に合うように下線部に当てはまる 1 語を書きましょう。

- 1) The woman loved the _____ at the concert.
- 2) The man rather likes the _____.
- 3) They are going to _____ together someday.

参考 会話の英文は本冊 p.11、日本語訳は p.24

Step 2 もう1度会話を聞いて、質問に英語で答えましょう。難しければ日本語でも構いません。  CD1-03

Q1 How was the concert?

Q2 Does the man like the guitarist?

Q3 Does the woman play anything?

▶ Hints

Q1 How was ~? 「～はどうでしたか」

Q3 play anything 「<疑問文で>何か（楽器）を演奏する」



DAY1 終了まであと1ページです。
Keep going!

Words and Phrases

● 語彙や語句を練習しましょう。

Step 1 会話を聞きながら、右の欄の日本語に相当する英語を下の ● **Vocabulary** の中から選択して左の欄に書き入れましょう。ほかにも覚えたい語彙や語句があれば、辞書で調べて空欄に書き入れましょう。

✓		English	Japanese	
✓	1		名	コンサート
✓	2		副	実に、本当に
✓	3		副	特に、とりわけ
	4		名	ドラマー、ドラム奏者
	5		副	むしろ
	6		名	ギタリスト、ギター奏者
	7		—	私は～したいと思う。
	8		—	結構上手な、それほど悪くない
	9		代	何か（疑問文で使って）
	10		—	実際には
	11		副	おそらく、ひょっとすると
	12		動	演奏する、上演する
	13			
	14			
	15			

参考 品詞に関する説明は本冊 p.93

● Vocabulary

anything / concert / drummer / especially / guitarist / I'd like to ~. / in fact / maybe / not too bad / perform / rather / really

Step 2 CD の後について発音練習をしましょう。

CD1-04

Step 3 日本語だけを見て英語を発音しましょう。言えたら左のチェック欄に✓を入れましょう。

Step 4 上の語彙や語句を意識しながら、会話をもう1度聞きましょう。

CD1-03

WEEK 1 DAY 2



What's the date today? It's _____, _____ .
(曜日) (月) (日)

⇒ DAY 2 の日本語訳、解答例、解説などは [解答・解説](#) p.3

Warm Up

● 発音のツボを押さえましょう。

ここがわかると英語が聞き取れる！ 英語らしく話せる！ そんなツボを押さえましょう。

Step 1 今週の会話で使われている①～⑤の発音に注意しながら CD を聞きましょう。 CD1-05

- That was a great **concert**.
①
- I especially loved the **drummer**. He was so **cool**.
② ③
- I rather like the **guitarist**.
④
- In fact, I play the **drums**.
⑤

今週の発音のツボはこれ！ 《カタカナ英語 1》

①～⑤はカタカナで表記された日本語の発音と似ているように聞こえるかもしれませんが、実際は全く異なる音です。日本語の発音では相手に思うように伝えることができません。発音の違いを理解して、英語らしい発音ができるようにしましょう。

英単語には少なくとも 1 カ所、ほかよりも強く発音される音があります。その音を強くはっきりと発音し、ほかの箇所は弱く発音すると英語らしい発音に近づくことができます。また、日本語のアクセントは高い・低いですが、英語のアクセントは強い・弱いとなることにも注意しましょう。

- ①… **concert** 「コンサート」は英語では「カン서트」のように発音されます。「カ」を強く発音しましょう。
- ②… **drummer** 「ドラマー」は英語では「ドゥラムー」のように発音されます。「ラ」を強く発音しましょう。
- ③… **cool** 「クール」は英語では「クーゥ」のように発音されます。
- ④… **guitarist** 「ギタリスト」は英語では「ゲターリスト」のように発音されます。「ター」を強く発音しましょう。
- ⑤… **drum(s)** 「ドラム」は英語では「ドゥラム」のように発音されます。②と同様に「ラ」を強く発音しましょう。

Step 2 ①～⑤の発音に特に注意しながら、上の語彙と文を CD の後についてリピートしましょう。 CD1-06

Let's Play a Role!

- 今週の会話を覚えましょう。

Man: Wow! That was a great concert.
Woman: It really was. I especially loved the drummer. He was so cool.
Man: Did you? I rather like the guitarist. I'd like to play like him.
Woman: You aren't too bad. I like your playing, too.
Man: Really? Do you play anything?
Woman: In fact, I play the drums. Maybe we can perform together sometime.

Step 1 テキストを見ながら、発音に注意して、CD の後についてリポートしましょう。  CD1-07
次に、テキストを見ずに CD の後についてリポートしましょう。

Step 2 CD を聞きながらロールプレイをしましょう。1) と 3) では、ピッツという合図の後からセリフを言い始めてください。

- 1) テキストを見ながらセリフを言きましょう。あなたは Man の役です。  CD1-08
- 2) テキストを見ながらセリフを言きましょう。あなたは Woman の役です。  CD1-09
- 3) テキストを見ずにセリフを言きましょう。あなたは Man の役です。  CD1-08
- 4) テキストを見ずにセリフを言きましょう。あなたは Woman の役です。  CD1-09

⇒ロールプレイの方法は [コースガイド](#) p.11

[参考](#) 会話の日本語訳は本冊 p.24



会話を暗記してしまうほど、ロールプレイは何回も練習しましょう。

Build Up Your Vocabulary

●人物の様子（1～8）や行動など（9～16）に関する語彙や表現を覚えましょう。

✓	1	nice-looking	顔立ちの良い、美しい
✓	2	smart	賢い
✓	3	active	活発な、元気な
	4	friendly	親しい、友好的な
	5	cute	かわいい
	6	kind	親切な、優しい
	7	outgoing	社交的な、陽気な
	8	optimistic	楽天的な
	9	paint	～を（色をつけて）描く
	10	dance	ダンスをする
	11	speak English	英語を話す
	12	sing karaoke	カラオケで歌う
	13	cook a delicious dinner	おいしいディナーを作る
	14	write a book	本を執筆する
	15	start a business	事業を始める
	16	own a house	家を持つ、持ち家がある



1. nice-looking



12. sing karaoke

Step 1 CD の後について発音しましょう。



Step 2 日本語だけを見て発音しましょう。英語が言えたら左のチェック欄に✓を入れましょう。

Step 3 上の1から8の英語を使って「彼はとても_____だった」と人物の様子を伝える文を言いましょ。

He was so _____.

Step 4 上の9から16の英語を使って「私は彼のように_____したい」と自分の願望を伝える文を言いましょ。

I'd like to _____ like him.

Express Yourself!

● 英語の質問を読んであなた自身のことを口頭で答えましょう。

Q1 I like listening to classical music. How about you?

答えの例 I like listening to rock music.

あなたの答え _____

Q2 I often listen to music in the train. How about you?

あなたの答え _____

Q3 I can play the guitar a little. How about you?

あなたの答え _____

Q4 Do you think music is necessary for your life?

(あなたの答えがYesの場合はこの質問に答えましょう) Why?

(あなたの答えがNoの場合はこの質問に答えましょう) Why not?

あなたの答え _____

▶ Hints

質問をよく読んでくださいね。答えのヒントは質問の中に隠れていますよ。

また本冊の p.6 にもヒントがあるかもしれません。

Q1 classical music を自分の好きな音楽のジャンルに置き換えてみましょう。

Q2 in the train をあなたがよく音楽を聞く場所に置き換えましょう。

Q3 guitar をあなたが演奏できる楽器に置き換えれば OK です。楽器を演奏しない場合は don't を使って表現しましょう。

Q4 Do you think を除くと尋ねられている意味がわかりやすくなりますね。necessary 「必要な」